

本時のねらい

相手の話の意図を考えて聞くインタビューの活動を通して、役割ごとの聞き方をまとめ、報告書を作成できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・インタビューの記録者が、後から何度も見直ししながらメモを取ることができるよう、タブレットを用いて動画でも記録しておく。
- ・紙とタブレットの使い分けについては、どの場面でもどちらで行うのが使いやすいか判断できるようにしたいが、今回は統一してメモを紙で、報告書はタブレットで作ることとする。メモは、ある程度広いスペースがあり直感的に記録しやすい大きめの紙、報告書は校正のしやすいタブレットで行う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のインタビューで出し合った反省点や、インタビューする上でのポイントを確認する。 ・本時のめあてを確認する。 <p>「友だちにインタビューし、報告書を書くためのメモを作成しよう」 【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影しておいた前回のインタビューの様子を各自で見直すことができる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手、話し手、記録者に分かれ、2回目、3回目のインタビューを行う。一つの質問の答えに対して、さらに掘り下げて質問を続け、その子のことを深く知ることができるようにインタビューをする。 例) A「好きなスポーツは何ですか。」→B「○○です。」→A「そのスポーツをやっていてどんなところが楽しいですか。」→… ・2回目と3回目の間にインタビューの仕方や記録の仕方について振り返りを行い、3回目のインタビューに生かす。 記録者は動画で記録しながら記録用紙にメモをする。 ・インタビュー終了後、記録しておいた動画を見返しながらかメモに追記を行う。 <p>【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを行う相手について、知りたいであろうことを考え質問させる。 ・タブレットの動画機能を用いインタビューの様子を記録させる。必要に応じて何度も記録を見返しながらか、メモの追加を行うことができる。 ・ある程度広いスペースがあり直感的に記録しやすい大きめの「紙」に記録させることで、アナログの良さをつかませる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の報告会に向けて、報告書を書き始める。 <p>【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書をタブレットで作成することで、文の構成や添削がスムーズに行えるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 前回のインタビュー振り返り



【写真2】 インタビュー中。奥の児童は記録しながらメモをとる。



【写真3】 メモをもとに報告書を作成

児童生徒の反応や変容

- ・インタビュー活動を通して、スムーズに質問できるようになったので、友だちとの会話もスムーズにできるようになった。
- ・動画で記録しながらインタビューしたことで、よい緊張感があった。
- ・タブレットを使ったことで、見直せるので慌てずメモや報告書が書けた。
- ・報告書の作成では、タブレットを使ったので、書き直しを何度も行えて、よりよい表現方法を見つけることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・インタビューの動画をとるときは、児童間の間隔をあけて行わないと聞こえにくい。
- ・動画を活用することで報告書の作成がスムーズにできる。また、インタビューの振り返りができる。